

かんじきを作ろう



熊も私たちも大好きなコクワ（さるなし）の実。でも、木にとっては怖い存在です。その蔓に一度とりつかれたら全身蔓で覆われて、枯死は免れません。天然林では、それも自然のサイクルで、コクワの実は多くの生き物を育んでもいます。しかし、自然のバランスから外れた人工林においては、コクワの恵みは期待できません。私たちは、天然林のコクワは極力切らず、人工林のコクワはきれいに整理しています。そんなコクワも、雪深い北海道では冬の足「かんじき」の材料として無駄なく使われてきました。私たちは、先人の知恵に習い、かんじき作りに挑戦しました。その顛末を公開します。この冬、手づくりのかんじきで新雪を歩いてみませんか。

■かんじき作り講習会DATA■

【日時】平成15年12月12日（金）
【会場】銭天山荘
（銭函天狗山の札幌山岳会山

小屋）

【講習時間】10:30~15:00
【人数】会員22名
【講師】2名：石狩森づくりセンター
（清水野氏・小林氏）



●コクワ

コクワの蔓を一足につき4本用意する。

■前方枠（つま先側） 2本
直径2.5cm±5mm 長さ80cm

■後方枠（かかと側） 2本
直径2cm±5mm 長さ60cm

※コクワの選定で出来上がりの良し悪しが決まる。自分の体格に合わせて太さを決め、節のない真っ直ぐな蔓を選ぶ。

※相当に乾燥している場合を除いて、特に浸水などの処理は不要（今回の材料は、およそ二ヶ月前に採取し念のため浸水させたが、その必要は無かった）。鋸の背などで容易に皮は剥ける。

●工 具

- バッテリー式ドリルΦ3mm
- スクリュードライバー
- ペンチ
- やすり
- 手鋸

●材 料《20足分と今回かかった費用》

- ひも：クレモナロープ
Φ6mm×12m×20足 ￥14,640
- スクリュー木ねじ
Φ3.8mm×L55 8本×20足
¥297
- 針金（被覆線）
Φ2mm×50m ￥640
- スズランテープ 1巻 ￥197
- ビニルテープ 3巻 ￥114
- 垂木
40mm×40mm×200mm×20足

¥770

費用税込合計 ¥17,491 ★一足当たり ¥875

▼さあ、いよいよ組み立てです。▼



《組み立てる》



1



2



3

- 1) 手鋸の背などで皮を剥く。
- 2) つるを曲げて、スズランテープで固定する。
※いきなり曲げないこと。つるの両端を徐々に縮めるように、足と膝を使ってゆっくりと。
- 3) 前方枠に後方枠をはめ込み、スズランテープで固定する。重なり部分は10～15cm。
- 4) ドリルで枠の重なり部分に片側2～3ヶ所、下穴をあける。
- 5) スクリュードライバーで木ネジを埋め込む。
※下穴をあけずに、いきなりネジを入れると、つるが裂ける。
- 6) 内側にはみ出したネジ先端の突起部分をペンチで折り取り、やすりで磨く。
- 7) 針金被覆線で、重なり部分を2～3ヶ所しっかり固定し、その上をビニールテープで巻く（好みで巻かなくても良い）。

写真1

写真2・3

写真4・5

写真6



4



5



6

《紐を組む》



7



8

- 8) 足を乗せる紐を組む。紐は片足6m必要。
- 9) 紐の片端を約50cm長くして写真のようにかける。写真は右足用。足を置いたとき、外になる側から組み始める。
- 10) 輪を作ったら上から通す。
- 11) 反対側の枠の上から下に巻く。
- 12) 写真のように、紐の上→枠の下→枠の上→輪に通す、の順に組む。
- 13) 11)・12)の手順を2回繰り返す。
- 14) 最後に、50cm長くした方の一本だけを使って1回巻く。
- 15) 紐巻き完成。
※きつく絞めながら組み進むこと。

写真7

写真8

写真9

写真10

写真11・12

写真13

写真14



11



12



9

16) 【鼻上げ】
 かんじきは歩くとき雪に刺さらないよう、つま先が反り上がっている必要がある。そのため乾燥させるとき、左右を合わせて一つに縛ったら、前方にタルキをかませる。



13



10

17) 【かんじきの履き方】
 かんじきは鼻上げとともに前後のバランスが肝心。空中に足を上げたとき前方が少し上がるよう紐の前後位置を調節する。

写真15



14

▼ さあ、新雪の上へ一歩を踏み出そう！▼
 ～～只今工事中です。「かんじきの歩き方」近日公開予定～～



15